

年間授業計画（シラバス）

教科・科目	数学 I	単位数	3 単位	履修学年	1 年
目標	日常生活に必要な基礎的な計算方法を確実に身に付け、利用できるようにする。また、数学の基礎的な知識を習得し、それらを的確に使う能力を伸ばすことを目指し、さらに、数学的な見方や考え方のよさを認識出来るようにします。				
使用教材	新数学 I（東京書籍） 問題集「特別数学 1～4」				
評価の観点・評価規準	(関心・意欲・態度)	(思考・判断)	(技能・表現)	(知識・理解)	
	1. きちんと授業に出席し、勉強する意志が現れているか。 2. 与えられた課題に積極的に取り組めるか。	数学的活動を通して、数と式・2次関数における数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的にとらえることができているか。また、それらとともに、思考の過程を振り返り、多面的・発展的に考えることができているか。	1. 長い計算式や作図など、自分なりにノートに見やすく、まとめて書くことができるか。 2. 数と式・2次関数において、事象を数学的に考察し、計算方法やグラフを表現し、処理できるか。 3. 事象を表現し、処理する仕方や推論の方法を身に付け、的確に問題を解決できているか。	1. 数と式・2次関数における基本的な概念・法則・公式・用語・記号などを理解し、基本的な知識を身に付けているか。 2. 学んだことをもとに、日常生活において自ら考え、利用することができるか。	
評価方法	試験及び授業への参加度により総合的に評価する。				
学期	学習内容		学習のねらい		
1	第1章 数と式 1節 整式 ① 整式 ② 整式の加法・減法 ③ 整式の乗法 ④ 因数分解 ⑤ 特別数学		1 整式に関する用語を学習します。 2 整式の加法・減法を学習します。 3 整式の乗法による法則や公式を学び、それらを使って整式の展開を計算できるように学習します。 4 共通因数や公式による因数分解を計算できるように学習します。 5 一人ずつ与えられた問題集で学び、基礎的な計算方法を身に付けることができますようにします。		
2	2節 実数 ① 数の分類 ② 根号を含む式の計算問題 第2章 方程式と不等式 1節 1次不等式 ① 不等式とその解 ② 不等式の解き方(1) ③ 不等式の解き方(2) ④ 不等式の応用 ⑤ 連立不等式問題 ⑥ 特別数学		1 数を実数としてまとめ、数の体系について理解します。また、平方根について学び、それを含む式の計算方法を学習します。 2 不等式の意味と性質について理解し、計算できるように学習します。また、身近な事象について活用できるようにします。 3 因数分解や平方の形を利用した解法を理解し、解の公式を導きます。そして、それを活用した計算方法を身に付けることができますようにします。 4 特別数学は、1学期と同様。		
3	2節 2次方程式 ① 2次方程式とその解き方 ② 2次方程式の解の公式 ③ 2次方程式の応用問題 ④ 特別数学		1 因数分解を利用した2次方程式の解き方を学習します。 2 解の公式を導き、その活用ができるようになります。 3 身近な例を取り上げ、文章題から式をつくり、それを解けるようになります。 4 特別数学は、2学期と同様。		
学習上の留意点	この科目は2年間を通じて学習します。この学年では、まず、基本的な計算方法を学習し、次年度に生かせるようにします。				